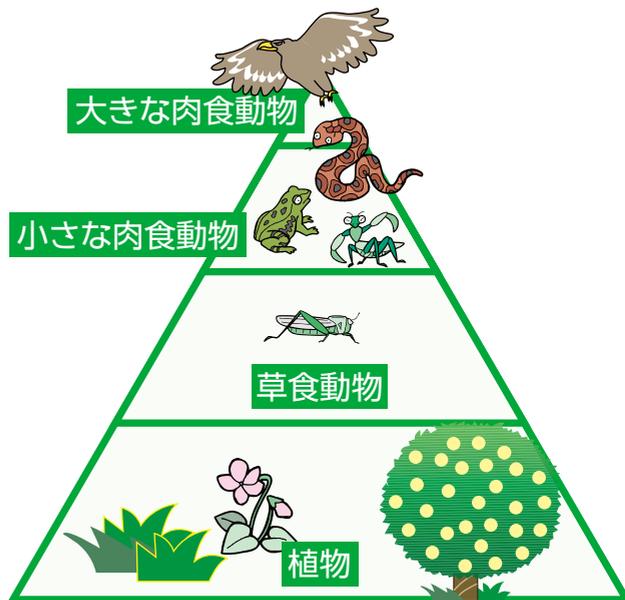


答え

- 3 (1) A
(2) (Aを食べる) Bの数が減ったこと。

考え方

- 3 (1) 同じ地域にすんでいる2種類の動物で、どちらかがもう一方を食べる関係にあるとき、基本的には食べられる動物の数は、食べる動物の数より多くなります。グラフでは、全体的にAのほうがBよりも数が多いので、草食動物はAといえます。



ピラミッドの下の生き物ほど、数が多かったね。

また、グラフを注意して見ると、Aの数が増えると、数年後にBの数が増えています。また、Aの数が減ると数年後にBの数が減っています。これは、BがAをえさとしているからだと考えられます。動物を食べるのは肉食動物なので、食べられる動物であるAが草食動物だと考えられます。

- (2) AをえさとするBの数が減れば、Aは食べられる数が減るので、A全体の数は増えていきます。グラフの①の数年前には、Bの数が急に減っていることから、Aは食べられる数が減り、その結果、Aの数が増えたと考えられます。

グラフで①の前後を切りとったもの

